

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 自然消失をみなかった乳児原発性 VUR 症例における予防抗生剤中止後の有熱性尿路感染症発症頻度とそのリスク因子

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 守屋 仁彦（泌尿器科・講師）

[研究の目的] 自然消失しなかった乳児原発性 VUR（膀胱尿管逆流）について、予防抗生剤中止後に発症した有熱性尿路感染症の発症頻度とその要因を検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成7年1月から平成24年10月の間に、乳児原発性 VUR と診断された患者さんで、保存的治療の検査で VUR（膀胱尿管逆流）の残存が確認されたが予防抗生剤を中止した患者さんを対象とします

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果（VCUG：排尿時膀胱尿道造影検査、DMSA 腎シンチ）、合併症について

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科

電話 011-716-1161

担当医師 守屋 仁彦

FAX 011-706-7853